

1. 【開催案内】公開シンポジウム

「社会生活のデジタル改革」(第14回情報学シンポジウム)

2. 日本学術会議協力学術研究団体 変更届提出のお願い

■-----
【開催案内】公開シンポジウム

「社会生活のデジタル改革」(第14回情報学シンポジウム)

-----■
【主催】日本学術会議情報学委員会

【後援(予定)】国立情報学研究所、情報通信研究機構、電子情報通信学会、情報処理学会

【日時】令和2年1月13日(水) 13:00~17:00

【場所】オンライン

【参加費】無料

【定員】300人・先着受付

【事前申込み】要

<https://forms.gle/X1ZbVdbhpiffhdN7>

【開催趣旨】

すでに1年に及ぼんとするコロナ禍を契機に、産業、医療、教育等々様々な局面でICTの活用が進められてきました。

社会生活は大きくICT技術で変化していく最中にあります。本シンポジウムでは、「社会生活のデジタル改革」というテーマで、情報学分野の最近の研究動向に関連した講演とパネル討論を行い、情報学の発展を促す施策からそのグローバルな社会的インパクトまで、情報学を取り巻くさまざまな話題に関する議論を行います。

【プログラム】

<https://sites.google.com/view/sci-i/情報学シンポジウム>

第一部 日米欧の情報科学技術施策について

第二部 社会生活のデジタル改革

「DXの現状と展開」 青山幹雄(南山大学理工学部教授)

「中外製薬が描くヘルスケア×デジタルの取り組み」

志済聡子(中外製薬株式会社執行役員)

「医療現場のデジタル改革：コロナ禍で分かったこと」

石川冬木(日本学術会議連携会員、京都大学大学院生命科学研究科教授)

「教育現場でのデジタル改革」

松下佳代(日本学術会議会員、京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

パネル討論：

司会 相澤清晴(日本学術会議会員、東京大学情報理工学系研究科教授)

パネリスト 上記講演者及び山本里枝子（日本学術会議会員、富士通研究所フェロー）

【問い合わせ先】

日本学術会議情報学委員会

メールアドレス： michiko*fun.ac.jp（大場みち子）

（*を@に変更して送信して下さい）

■-----
日本学術会議協力学術研究団体 変更届提出のお願い
-----■

日本学術会議 協力学術研究団体 御中

平素より日本学術会議の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

日本学術会議協力学術研究団体規程により、団体の届出内容（代表者、事務局所在地、連絡先、URL等）に変更が生じた場合には、速やかに文書（変更届）を郵送いただくこととなっております。

様式は以下 URL からダウンロードできますので、届出内容に変更が生じた団体におかれましてはご対応いただきますようお願いいたします。

URL: <http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>

現在の届出内容を確認されたい場合は、以下の問い合わせメールアドレスまでご連絡ください。
PDFにてお送りします。

なお、学会名鑑とは協力体制にありますが、登録内容等が異なっております。
学会名鑑を更新しただけでは、変更届の提出とはなりませんのでご注意ください。

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局 協力学術研究団体担当

scj.kyoryoku-dantai.t5k*cao.go.jp（*を@に変更して送信して下さい）

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

日本学術会議ニューズメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<http://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34